

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 一宮市立葉栗北小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 491-0135
愛知県一宮市光明寺字畳手55番地

E-mail hakit2-e@city.ichinomiya.aichi.jp

Website http://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=2310160

幼児児童生徒数 男子 218名 女子 232名 合計 450名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「伸びよ たくましく」を学校理念として、ESDを持続可能な社会の構築を担う子どもの育成のための教育と捉え、ESDの実践を通して未来に生きる力の育成を目標とした。

具体的には、環境、人とのかかわり、文化を柱に、①環境に係わる活動、②国際理解に係わる教育、③平和・人権に係わる学習、④伝統文化に係わる学習を行った。

① 環境に係わる活動

環境委員会を中心に、エコ美化スクール活動として、節電・節水の調査活動と呼びかけ活動、リサイクル運動に取り組んだ。特にリサイクル運動では、今年新たに「手のひら運動」と称し、手のひらサイズの「雑紙」の回収を行い、一宮市のエコスクール運動の優秀賞に輝いた。他にも、緑のカーテン、ヤゴ救出作戦等の活動を通し、環境についての考えを深めている。

② 国際理解に係わる教育

一宮市は、英語の特区になっており、3～6年生は年間35時間、1・2年生も年間6時間程度の英語活動に取り組み、英語の力を身につけている。また、昨年度、今年度と、国際交流 DAY として、台湾の大埔舊墟公立學校(寶湖道) Tai Po Old Market Public School の訪問を受け、全校児童が交流活動を行った。他にも、イタリアの国際交流員のアレッサンドラ・グリッロさんを招き、学年に応じた内容でイタリアについての理解を深めた。

③ 平和・人権に係わる学習

12月の人権週間を中心として、11月24日(金)から12月11日(月)までの期間に、各学級でいじめ防止のための話し合い活動を行った。内容は、いじめ推進委員会子ども支援部が出している「話し合い活動・コミュニケーション技術向上の活動(学級活動)」を中心に実践した。授業後も、子どもたちが授業で考えたことを生かしてよりよい人間関係を築いていけるように、「クラスの友達ともっと仲良くなるために」どんな活動をすればよいのかを話し合い、実践した。

④ 伝統文化に係わる学習

1年生の生活科「むかしから つたわる あそびを たのしもう」では、老人クラブ連合会に依頼し、こま、あやとり、お手玉、ビー玉、羽子板、だるまおとし、おはじき、けん玉などの遊びを教わったり、いっしょに遊んだりする中で、昔からの遊びのよさや楽しさ、地域の人々の優しさに気付く活動に取り組んだ。さらに、お礼の気持ちを伝える活動を通して、コミュニケーション力の育成にも取り組んだ。



エコスクール表彰での発表



台湾の小学校との交流



人権スローガンの発表



お年寄りにこまを習う1年生

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

なし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

エコ美化スクールの取り組みは「エコ美化委員会」の取組の定例となっており、全校体制での取り組みである。その活動は一宮市全体の学校の中でも模範的であり、2年連続で「優秀校」となっている。国際理解の活動、平和人権の活動、伝統文化の活動も、本校の年間計画、カリキュラムに明記されたものである。したがって、毎年同じ時期に確実に行われている。その内容は、毎年担当者が前年の反省に基づき、本年度の人的状況等を勘案し、発展的に内容を膨らませたり、時には削除をしたりして、少しずつ違った内容で実践が続いている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校経営案、年間計画に明示し、活動を定着させている。また、昨年度の取り組みも残し、さらに発展工夫がしやすい環境を整えている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

保護者に対し、無記名のアンケートを行っている。また、行事ごとにもアンケートをとっている。さらに、児童の感想や、教職員の聞き取り等からも、声を拾っている。これらによって汲み上げた意見を企画委員会で取り上げ、検討している。来年度は台湾との交流ができず、それに代わるものを模索中。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校ホームページでの発信を行っている。多くの保護者が見ており、好評である。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

一宮市の生涯学習課国際グループや一宮市社会福祉協議会地域福祉グループ、地域の老人クラブ、との連携は定例になっている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

台湾の小学校との交流を数年続けることができたが、先方の都合(来日が難しくなる)により、来年度は交流活動ができない。それに代わる活動を現在模索している。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

台湾の小学校との交流については、お互いに言葉が通じず、通訳もいたわけではなかったが、1日と一緒に過ごす中で互いに仲良くなり、帰る頃には「離れがたい」という感情が児童の中にわいてきたようだ。言葉が通じなくとも、心を通じ合わせることはできるという貴重な体験であった。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

通年でエコスクール運動に取り組む。
5月にウズベキスタンの留学生との交流
10月にニュージーランドの国際交流員招聘。
11～12月に人権週間の展開。
1月に国際理解ワークショップの開催。
2月に地域の老人クラブとの交流活動実施。